**平成30年度　高知スピリチュアルケア提供者養成研修　実施要領**

１．研修のねらい　　がん患者及びその家族が抱えている不安等、心のケアに対応できる者を養成するため、

心のケアについての基本的な知識を習得する。

２．主　　　催　　 高知大学医学部附属病院　・　一般社団法人高知がん患者支援推進協議会

３．対 象 者　 実際にがん患者や患者家族の支援に従事している者、

若しくは研修受講後に心のケアに関する相談業務に携わることができる者

４．研修日程　　　　　平成30年8月26日（日）～8月31日（金）　　　6日間　（全日程の参加が原則です）

　　　　　　　　　　　　　平成29年10月　中旬以降（予定）　　　　　　　１日のみ　（事後研修）

５．研修内容　 　別紙プログラムのとおり

６．指導担当者　伊藤高章（主任スーパーヴァイザー）  
　　　　　　　　　　　　　日本スピリチュアルケア学会理事・臨床スピリチュアルケア協会理事  
　　　　　　　　　　　　　上智大学神学部神学科教授・上智大学グリーフケア研究所副所長

７．研修場所　　高知大学医学部附属病院（高知県南国市岡豊町小蓮185-1）

８．募集人数　 　 6名

９．参 加 費 　　　1人50,000円 （参加費は研修会初日に会場で現金で納入してください）

10．申込方法　　　別紙「参加申込書」に必要事項を記入し、履歴書とともに郵送にて提出してください。

11．申 込 先　　 〒780-0935　高知市旭町3丁目115　男女共同参画センター　ソーレ2階

　　　　　　　　　 　　　　　　　　 がん相談センターこうち「スピリチュアルケア研修係」 ℡088-854-8762

12．申込期限　　　平成30年6月13日（水）　　当日消印有効

13．受講者選考方法　　提出書類をもとに、面接を行った後、決定します。

　　　　　　　　　　　　　　　※当研修を受講したことのある方は面接免除

14．面接内容等　　　　　参加申込書に記載いただいた志望動機、履歴書をもとに面接をさせていただきます。

　　　　　　　　　　　　　　　日時：平成30年7月6日（金）

　　　　　　　　　　　　　　　場所：男女共同参画センターソーレ（高知市旭町3丁目115番地）

※希望する面接日時を参加申込書にご記入ください。個別に相談させていただきます。

　　　　　　　　　　　　　　　　※面接時間　　　1人20～30分（予定）

　　　　　　　　　　　　　　　　※面接時に実習用の顔写真を撮影させていただきます。

15．選考結果通知　　　受講の可否については、7月末までにメール・郵送等でお知らせします。

16．研修当日持参　　　生育歴（幼少期・思春期の養育者との関係を含む現在に至るまでの歴史。8000字程度）

　　　　　　　　　　　　　　 参加費　50,000円

17．その他　　　　　　当該研修は、日本スピリチュアルケア学会の「スピリチュアルケア師」資格認定研修に認定されていますが、当該研修受講のみでは資格取得とはなりません。資格取得を目指される方は継続的な専門カリキュラムの受講等が必要となります。

研修プログラム

この研修は、スピリチュアルケアの高度な実践を目指し、臨床実習での指導・助言を受けると同時に、グループ研修の中での相互ケアを通してスピリチュアルケアを学ぶ、臨床的教育法に基づくプログラムとなっています。

スピリチュアルケアの効果的な学習には、自らのスピリチュアリティが豊かにケアされる経験が不可欠であると言う立場に立ち、参加者それぞれが自分自身の課題に取り組むとともに、他のメンバーからのケアを受け入れることをとおして、スピリチュアルケアをダイナミックに経験し、学びます。

参加者は、学習課題を通して、参加者相互の「支持」「明確化」「対峙」を学習します。

別紙プログラムに沿い、スーパーヴァイザーからスーパーヴァイズを各個人ごとに受けるとともに、グループワークにおいてもスーパービジョンを受けながら研修を進めます。また、病院の臨床実習も体験しながら講師のスーパーヴァイズを受け、実際の相談場面で活用できるスキルを深める内容となっています。

このように、参加者相互の学びを基本としたグループワーク形式による研修のため、6日間を通して参加可能な方とします。

≪主な研修内容≫

●グループワーク

・ｽﾋﾟﾘﾁｭｱﾙｴｸｻｻｲｽﾞ：毎朝10分のｽﾋﾟﾘﾁｭｱﾙｴｸｻｻｲｽﾞを各自担当する。心を落ち着け、良き一日になるような簡単なエクササイズ（お祈り、瞑想、詩や本の朗読、描画、音楽、ヨガ、呼吸法など）を行う。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　**（10分×研修生人数×1回）**

・生育歴ｾﾐﾅｰ：生育歴を基に20分の発表の後、研修生全員でセッションを行う。

**（45～50分×研修生人数×1回）**

・10分間ｽﾋﾟｰﾁ：“病院で患者・家族向けに講話をする”ことを想定して、自分の体験を通して得られた死生観・スピリチュアリティ・人生観・宗教観に関することをテーマに話せる内容を文章化し、発表する。発表のあと研修生全員でセッションを行う。　　　**（45～50分×研修生人数×1回）**

・会話記録検討：研修生の記録を基にグループ内で会話の再現を20分行った後、30分のセッションを行う。

**（45～50分×研修生人数×1回）**

・研修成果報告：研修で関わった患者さん、研修生、スーパーヴァイザーそれぞれとの関係、その成果を発表し研修生全員でセッションを行う。　　　　　　　　　　　**（45～50分×研修生人数×1回）**

●個人面談　 個人スーパービジョン（IS）：研修生一人一人と講師との個人面談

**(45～50分×研修生人数×2回)**

（集団研修よりも深い理解を得ることができ、研修生独自の考えで対応することを防ぎます）

●臨床実習　 高知大学医学部附属病院で行います。

●事後研修 　研修の約1ヶ月後に集まり、その1ヶ月をどのように過ごしたか、研修の影響がどのように出ているか等、話合います。